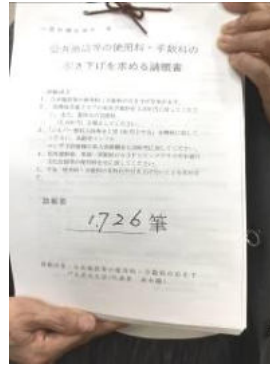


## 9月市議会に提出された請願を紹介します。

1 請願者・代表者、 2 要旨、 3 紹介議員、 4 付託委員会

### ●第10号 公共施設等の使用料・手数料の引き下げを求める件

- 公共施設等の使用料・手数料の引き下げを求める会  
高木 瞳、外 1,726 名
  - ①公共施設等の使用料・手数料の引き上げをされたい  
②放課後児童クラブ利用手数料を 3,500 円にもどされたい。  
また、夏休みの加算料 2,000 円) を廃止されたい。  
③「シルバー無料入浴券を 1 回 100 円とする」を無料に戻されたい。高齢者インフルエンザ予防接種の本人負担額を 1,200 円に戻されたい。  
④尾西運動場・尾張一宮駅前ビル 3F シビックテラスや木曾川文化会館等の使用料を元に戻されたい。  
⑤今後、使用料・手数料の有料化や引き上げを行わないこと。
- 3、彦坂和子  
4、①、⑤ 総務委員会 (9/14)、②、③ 福祉健康委員会 (9/15)  
④ 経済教育委員会 (9/16)



### ●第11号 小・中学校の少人数学級を求める件

- 新日本婦人の会一宮支部 鈴岡 久枝
  - ①市独自で小・中学校全学年の 1 学級 35 人定員を早急に実現されたい。  
②少人数学級を求める声が広がっています。  
国・県に 30 人学級実現の要請をされたい。
  - 宇山祥子、後藤美由紀、彦坂和子
- 4、経済教育委員会
- ### ●陽性者が出た小・中学校での PCR 検査を求める件
- 新日本婦人の会一宮支部 鈴岡 久枝
  - 新型コロナウイルス感染が確認された学校では、児童生徒および教職員全員に対して PCR 検査を実施されたい。
  - 彦坂和子



4、総務委員会

### ●第8号 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める件

- 一宮市教職員組合 戸松浩一
- ①少人数学級のさらなる拡充を含めた定数改善計画を早急に策定し、実施すること。  
②義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率を 2 分の 1 へ復元すること。
- 全会派の幹事長・全一人会派議員
- 経済教育委員会



### ●第9号 一宮市スケート場の存続・新設を求める件

- 一宮市スケート協会 秦健二
- スケート場の冷媒設備を取り替えさせること、及び新設を前向きに検討されたい。
- 中村かずひと
- 経済教育委員会

その他に継続審査となっていた請願についても各常任委員会で審査します。

- 第3号 国民健康保険税の引き下げを求める件 福祉健康委員会
- 第5号 所得税法第56条の廃止を求める件 総務委員会
- 第6号 75歳以上の医療費負担の原則2割化に反対する件 福祉健康委員会

## 請願とは

国や地方公共団体に対して、希望・苦情・要請を申し出ることです。日本国憲法第16条は国民が国などに請願する権利を保障しています。国民には権利の確保を求める手段として、公務員（国会議員、地方公共団体の長、地方議会議員等）の選挙権が認められますが、選挙以外の場でもその意見を政治に反映されなければなりません。その手段としての請願権も認められているのです。「知っ得！憲法より」



## 提出には紹介議員が必要です。

提出された請願は、所管常任委員会に審査を付託し、その審査の結果を本会議に報告し、議会としての採択・不採択の決定をします。常任委員会には 総務委員会、福祉健康委員会、経済教育委員会、建設水道委員会があります。



## 安倍政権「負の遺産」一



日本共産党は、7年8ヶ月の安倍政権について以下の6つの視点から「史上最悪の暴政の連続」だったと述べています。

### 憲法と立憲主義の破壊・・・「戦争する国」に向かう暴走政治

2014年7月集団的自衛権行使容認の「閣議決定」、2015年9月安保法制を強行。2015年に日米新ガイドラインや2018年12月の「防衛計画の大綱」、「中期防衛力整備計画」などを進め、「従来とは抜本的に異なる速度で防衛力を強化する」として20年度軍事費が政府予算案で過去最高の5兆3千億円となり、海外で武力行使が行えるように変わろうとしている。さらには改憲を進め「米国と肩を並べて戦争できる国」にしようとしている。

### 戦後最悪の大増税を押し付け、暮らしと経済を根こそぎ破壊

安倍政権が2度強行した消費税増税(1.3兆円)は家計を直撃し、消費不況と国内需要低下を招き、地域経済の担い手の中小企業を疲弊させ、さらなる格差を招いています。

7年間の間にも、社会保障は改悪され4.3兆円もの負担増・給付削減、労働法制の改悪による雇用破壊、年間18万円の実質賃金低下などが起きてます。

消費増税と社会保障の連続改悪、そして、雇用破壊と賃金の減少――まさに暮らしと経済を根こそぎ破壊してきたのが安倍政治です。



### 大国に追随し、覇権主義にモノが言えない屈従外交

安倍外交は、「地球儀を俯瞰(ふかん)する外交」を売り物にしているが、大国に追随し、覇権主義にモノが言えない屈従外交があらわになってます。

対米外交では軍事面での追随、兵器の「爆買い」、貿易交渉での食料主権と経済主権の放棄、対中交渉では、領土問題での「4島返還」方針の投げ捨て、対中外交での中国の横暴な振る舞いの黙認等、「強い者にはモノ言わない」外交となっています。

### 侵略戦争と植民地支配を美化する歴史逆行と排外主義

安倍政権は、歴代自民党政権が表明してきた1995年の「村山談話」での「植民地支配と侵略」への反省を投げ捨て、歴史を改ざんし、侵略戦争と植民地支配を美化する歴史逆行の政治をすすめてきました。

今日、日韓関係の悪化は、安倍政権が、過去、日本が犯した植民地犯罪に真剣に向き合おうとせず、被害者の方々の名誉と尊厳を回復する責任を投げ捨てていることとなります。

## 強権とウソと偽りと忖度の、究極のモラル破壊の政治

安倍政権の政治姿勢の特徴は、強権、ウソと偽り、忖度(そんたく)にある。

国民多数が反対する法案の強行採決などの民意を無視する強権、情報の隠蔽・統計偽装などのウソと偽り、首相などを守るために政権に忖度するなどの政治が安倍政権です。

安倍政権のもと、日本社会のモラル崩壊が進んでいる。首相を守るために、政権に忖度し、都合の悪いことは政権ぐるみで隠ぺいし、改ざんし、虚偽の答弁を繰り返す。ウソと偽りの政治は、終わりにしなければなりません。

### 行き当たりばったりのコロナ対策の失敗

安倍政権のコロナ対応は思いつきでの休校要請・布マスクの1世帯2枚配布など「行き当たりばったり」であることは明らかです。専門家やコロナ感染拡大を抑え込んだ他国の事例から学ぶこともなく、いたずらに感染者を増やしています。

政府は感染が何度もピークを迎えるという考えを基本にしているが、何度も繰り返せば社会は疲弊・荒廃する。それを避けるためには「検査によって抑え込む」ことが必要です。

### 自民党総裁選3候補は全て戦争法などの推進者

2014年の集団的自衛権行使容認の「閣議決定」、15年の戦争法の数の力での採択、これらを行った際の閣僚に自民党総裁選3候補、菅氏(官房長官)、岸田氏(外相)、石破氏(地方創生相)がおり、憲法と立憲主義を壊した暴政に共同責任を負っています。

3氏とも、「安倍政治」を内閣の内外で進めてきた人物です。

### 「負の遺産」一掃と「安倍政治」

#### への決着は総選挙で!

日本共産党は、「安倍政治からの転換の三つの方向」として、

- ①憲法にもとづき、立憲主義、民主主義、平和主義を回復する。
- ②格差をただし、暮らし・家計応援第一の政治にきりかえる。
- ③多様性を大切にし、個人の尊厳を尊重する政治を築くと打ち出しています。

総選挙を、『安倍政治』の『負の遺産』を一掃し、三つの方向で新しい政治をつくる――この旗を掲げて野党連合政権に道を開く選挙にしていくことを呼び掛けます。



(わたなべさとし)